

平成 2 7 年度第 2 回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時 : 平成 2 7 年 7 月 2 9 日 (水) 1 8 : 1 0 ~ 1 9 : 0 0

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 1 3 名

出席者 : 1 0 名

佐村 博範 (琉大病院)、照屋 淳 (北部医師会病院)、川満 博昭 (県立宮古病院)、鈴木 英章 (八重山病院)、高江洲 和代 (那覇市立病院)、高江洲 アヤ子 (那覇市立病院)、島袋 幸代 (中部病院)、宮城 みづえ (琉大病院) 増田 昌人 (琉大病院)、仲本 奈々 (琉大病院)

欠席者 : 宮里 浩 (那覇市立病院)、上田 真 (中部病院)、真鶴 善栄 (がん患者会連合会)

陪席者 : 前原 克章 (よりよい地域医療を応援する会)、南 大介 (よりよい地域医療を応援する会)、井岡 亜希子 (琉大病院)、呉屋 葉子 (琉大病院)

[報告事項]

1. 平成 2 7 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

佐村部会長より、資料 1 に基づき、平成 2 7 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

3. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

佐村部会長より、資料 2 に基づき、平成 2 7 年 7 月 2 7 日現在の 3 拠点病院、平成 2 7 年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について、大腸がん 1 1 件、乳がん 5 件、在宅緩和ケア 4 件、胃がん 2 件の順になっていることが報告された。施設別では、那覇市立 1 3 件、琉大 9 件だった。

5. 離島でのがん地域連携クリティカルパスの研修会の実施について

佐村部会長より、資料 3 に基づき、7/10 に予定していた八重山病院でのがん地域連携クリティカルパス研修会は台風の影響で延期になったことが報告された。

延期の日程は 9 月 4 日を予定していたが、よりよい地域医療を応援する会の方々が参加できないことから、日程を再度検討することになった。

6. 第 8 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会事前アンケート結果各施設からの回答について

増田委員より、資料 4 に基づき、51 ある都道府県がん拠点病院が年 1 回行っている調査で、各施設の地域連携クリティカルパスの取り組みについて、説明報告があった。

[協議事項]

1. 「放射線療法、化学療法、手術療法の充実とチーム医療の推進」と「地域の医療提供体制の推進」のアウトカムと指標について

増田委員より、沖縄県と琉大病院がんセンターで、沖縄県がん対策推進計画 (第二次) 中間評価事業を行っており、最終目標である分野アウトカムを達成するために、沖縄県がん対策推進計画を落とし込みながら、分野アウトカムと中間アウトカムの指標のたたき台を作ったので意見を伺いたいと依頼があった。

井岡特命助教より、資料 5 の 3.(4)がん医療①放射線療法、化学療法、手術療法の充実とチーム医療の

推進－沖縄県がん対策推進計画（第二次）中間評価(たたき台) の中間アウトカムと分野アウトカムの指標について説明があり、主観指標として患者・家族調査、医療者調査を行う予定で、遺族調査を検討中であることが報告された。

分野アウトカムの指標のデータの抽出先について質問があり、井岡特命助教より、主治療カバー率は、沖縄県がん登録データから計測し、標準的治療実施率は、院内がん登録と DPC の連結によるデータからの算出となっていることが報告された。大腸がん術後化学療法実施率の数値については、ステージⅢの患者さんが対象で、術後連携で他施設で化学療法を行った患者さんや、高齢、合併症などで化学療法を行わなかった患者さんは入っていないことが報告された。

増田委員より、患者・家族調査について、2010 か 2011 年にがんと診断された患者さん 2000 人を対象に、地域がん登録データから患者比率を確認し、拠点病院と支援病院の 6 病院で行うこと、アンケートは各病院から発送し、県庁で回収して、分析は琉大病院がんセンター（沖縄県がん対策推進計画中間評価事業担当）で行うことが報告された。

医療者調査に関しては、県が指定している 20 の専門施設にアンケートを発送する予定で、回収は各病院で行い、県に発送する。琉大病院がんセンター（沖縄県がん対策推進計画中間評価事業担当）が分析後、コメントをつけて専門部会に再度提案するので、意見を伺いたいと依頼があった。

井岡特命助教より、3.(4)がん医療④地域の医療提供体制の推進－沖縄県がん対策推進計画(第二次) 中間評価(たたき台) について説明があり、佐村部会長より、中間アウトカムの指標 3 の在宅看取り希望達成率について、在宅の看取りを希望してできなかった要因を分析するのが大事ではないかと意見があった。増田委員より、他に意見があれば、メールで送るよう依頼があった。

2. 拠点病院相互訪問調査（好事例の共有等）について

増田委員より、がん診療連携拠点病院の指定要件に、都道府県内のがん診療連携拠点病院・特定領域拠点病院・地域がん診療病院との情報共有と相互評価が指定されていることから、県内の拠点病院と支援病院の 6 施設で相互訪問調査を予定しており、調査表は、拠点病院の指定要件の必須項目、四国がんセンターやがん対策情報センターがん医療研究部の資料を参考にがん政策部会で作成し、調査担当は、院長、看護部長等、事務長、各室会議の室長を予定していると報告があった。

3. 次回の開催について

次回の開催日は、第一候補は10月14日、第二候補は10月21日となった。

平成27年度第3回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時： 平成27年10月14日（水） 18:10～19:00

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員： 13名

出席者： 9名

佐村 博範（琉大病院）、宮里 浩（那覇市立病院）、中上 弘茂（八重山病院）、高江洲 和代（那覇市立病院）、高江洲 アヤ子（那覇市立病院）、島袋 幸代（中部病院）、宮城 みづえ（琉大病院）増田 昌人（琉大病院）、仲本 奈々（琉大病院）

欠席者： 4名 上田 真（中部病院）、照屋 淳（北部医師会病院）、川満 博昭（県立宮古病院）、真鶴 善栄（がん患者会連合会）

陪席者： 4名 玉城 和光（八重山病院）、前原 克章（よりよい地域医療を応援する会）、南 大介（よりよい地域医療を応援する会）、呉屋 葉子（琉大病院）

[報告事項]

1. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

佐村部会長より、資料1に基づき、平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

佐村部会長より、資料2に基づき、平成27年9月30日現在の平成27年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は43例で、施設別では、那覇市立22例、琉大13例、中部病院が8例の順になっていること、疾患別では、乳がん19例、大腸がん16例、在宅緩和ケア4例、胃がん3例の順になっていることが報告された。

3. その他

増田委員より、九州がんセンターの藤院長より、日本医療マネジメント学会第4回九州・山口連合大会で「患者の視座からみたがん診療連携クリティカルパス」のパネルディスカッションがあり、九州の実績を報告したいと依頼があり、パスの種類、適用件数、かかりつけ数など情報提供したことが報告された。データが揃ったら、他県の現状とともにフィードバックするとのことだった。

[協議事項]

1. 離島でのがん地域連携クリティカルパスの説明会について

増田委員より、資料3に基づき、離島でのがん地域連携クリティカルパスの説明会について、これまでの経緯の説明があり、八重山病院 玉城副院長と中上委員に、12/4に八重山病院で説明会を開催してもよいかと確認があり、玉城副院長より、承諾の回答があった。

増田委員より、説明会を開催するにあたって、院内や院外へ広報、会場の確保や設営、閉会の挨拶、事務対応の窓口について協力依頼があり、玉城副院長より、承諾の回答があり、閉会の挨拶は病院長に依頼しており、窓口は総務課長に依頼するとのことだった。広報については、ポスターやチラシを院内に掲示するので、早めに送付するよう依頼があった。

2. がん地域連携クリティカルパス適用件数を増やすための方策について

- (1) メインとなる「かかりつけ施設」を増やすことについて、以下の意見があった。
 - ・患者が希望したが協力医療機関でない施設に、訪問し説明してはどうか。
 - ・ダイコー沖縄の営業社員向けに、前立腺がんパスの説明会を予定しており、説明会を受けた営業社員から情報を発信できるよう検討中である。
 - ・連携施設に定期的に情報発信してはどうか。

- (2) 利用しやすいパスにすることや適用範囲を増やすことについて、以下の意見があった。
 - ・将来的には電子カルテに組み込めるよう、3拠点病院の医療情報の職員を集めてノウハウを作り、統一化してはどうか。
 - ・3拠点病院で、何が問題になっているがリストアップし、電カルとの連携も考えながら、今あるパスを使いやすくしてはどうか。
 - ・開業医が使いやすいものにするために、それぞれの施設で開業医からきた苦情をまとめて、改善策を検討してはどうか。
 - ・適用のない疾患のパスについて、適用がない理由を各疾患WGで検討してはどうか。
 - ・パスの運用が病院全体の事業になるよう務めてはどうか。

- (3) 目的を達成できる説明会にすることについて、以下の意見があった。
 - ・説明会の内容は、パスの必要性やメリットを話す。
 - ・実際の運用方法の説明、外来や地域連携室の流れを話してはどうか。

3. その他

12/4の説明会前までに、八重山病院に私のカルテを送付することになった。

4. 次回の開催について

次回の開催日は、平成28年1月13日または1月27日のどちらかで行うことになった。